



タイにおける未来食品のトレンドと 農業や食品産業開発の支援政策

国立食品研究所
所長
アノン・パイジプラパコン

2023年3月23日

23 March 2023

- タイにおける未来食品の状況および傾向
- タイの農業・食品産業開発支援政策
- タイでの未来食品の成長に影響を与える要因



タイにおける未来食品の状況および傾向

タイにおける未来食品産業

1



Functional Food (健康補助食品／機能性食品)

体に有益な基本的な栄養素だけでなく、様々な病気の発症を予防しリスクを軽減するのに重要な物質を含む食品

2



Medical Food (医療食品)

通常の食事だけでは不足する為、特定の栄養を必要とする患者の食事管理のために特別に準備された食品

3



Organic Food (有機食品)

全てのプロセスおよび製造工程で化学物質に頼らない農産物から得て、かつ遺伝子組換え (GMO) でない食品

4



Novel Food (新規食品)

*消費歴が短い、またはその地域での消費歴がない、新しい食品を含む新しいイノベーションや製法、または新しい栄養源により新たに開発された食品

市場機会

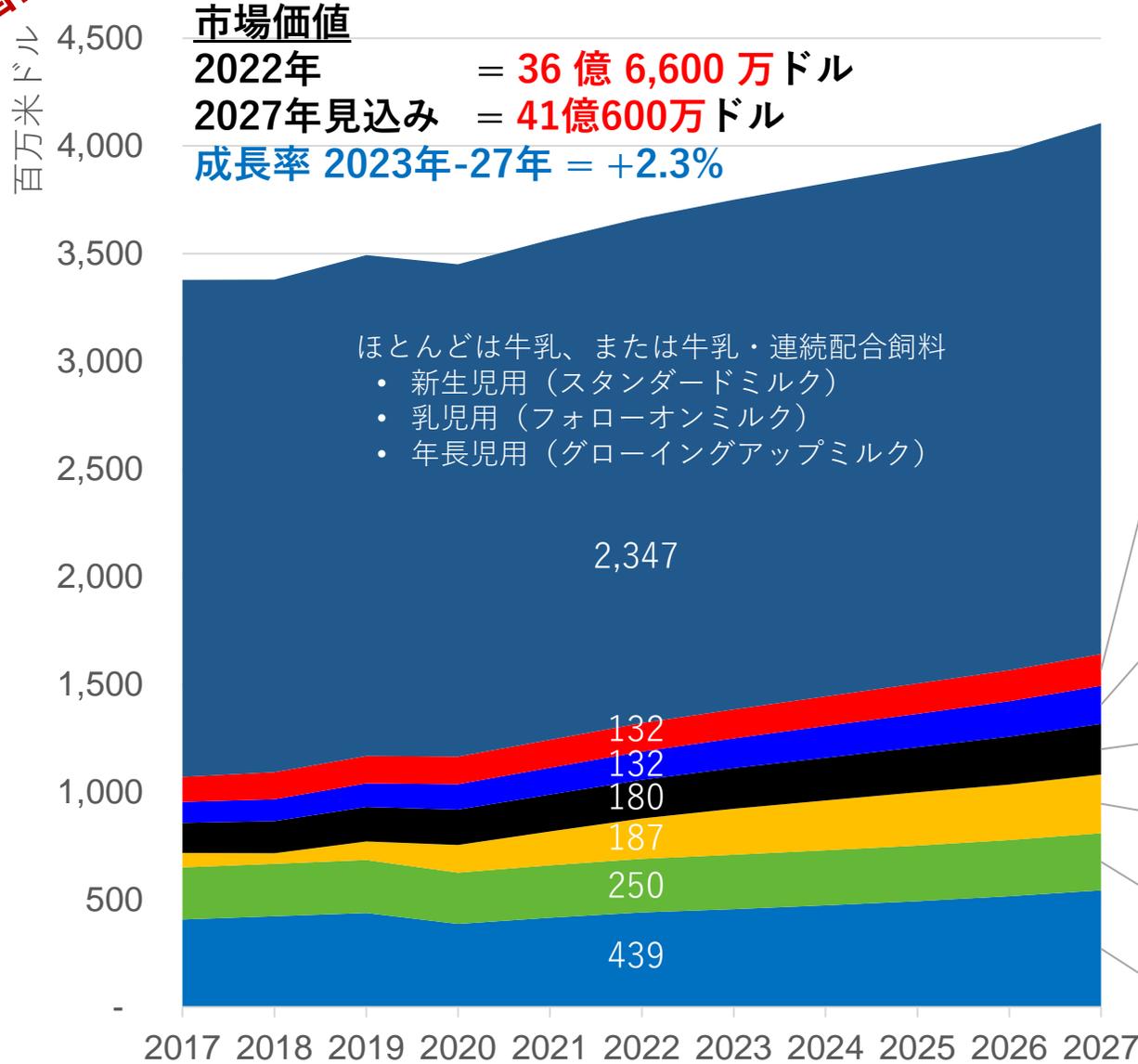
- 市場が大きく成長する傾向
- メガトレンドに合わせる

タイの可能性・準備状況

- タイの食材は多種多様であり、生産能力を十分に高められる
- 技術を過去から適用することが可能
- 人材は知識を持ち、専門家は知識移転が可能
- システム内の研究が十分であり、商用展開の準備ができています
- 規格および認定を取得済

タイにおける機能性食品のトレンド

タイ国内市場



機能性材料のトレンド

成長率
(2023年-2027年見込み)

その他機能性食品
2,467

1.0%

ホエイプロテイン
 ビタミン、カルシウム
 オメガ3,6,9
 コリン (脳機能に)
 イヌリン、亜鉛等

レディートウードリンク
 インスタント
 コーヒー, 148

2.4%

パン、朝食用シリアル,
176

6.0%

調整乳, 236

5.6%

ボトル入り飲料水,
272

7.8%

スポーツドリンク,
267

1.3%

ヨーグルト, 541

4.3%

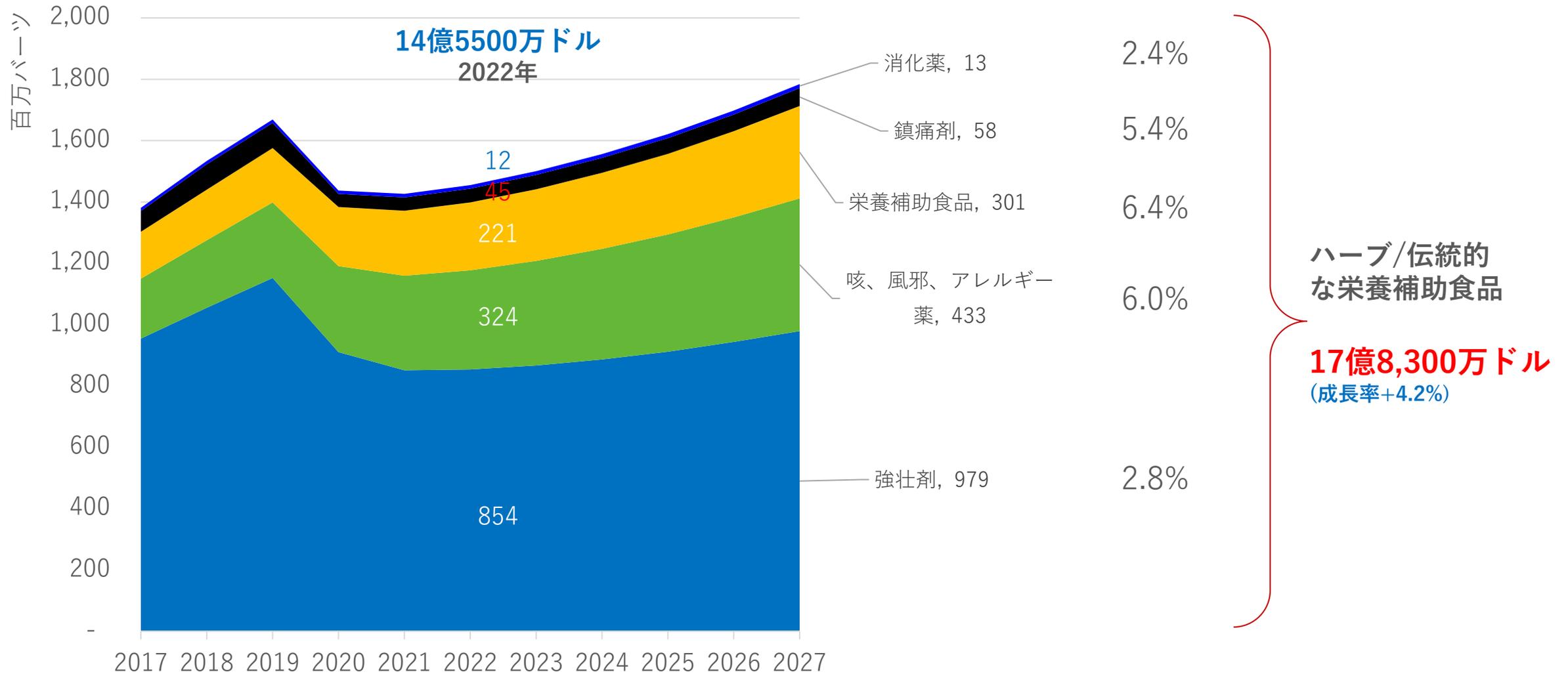
低脂肪、プロバイオティクス



タイのハーブ/伝統的な栄養補助食品市場の動向

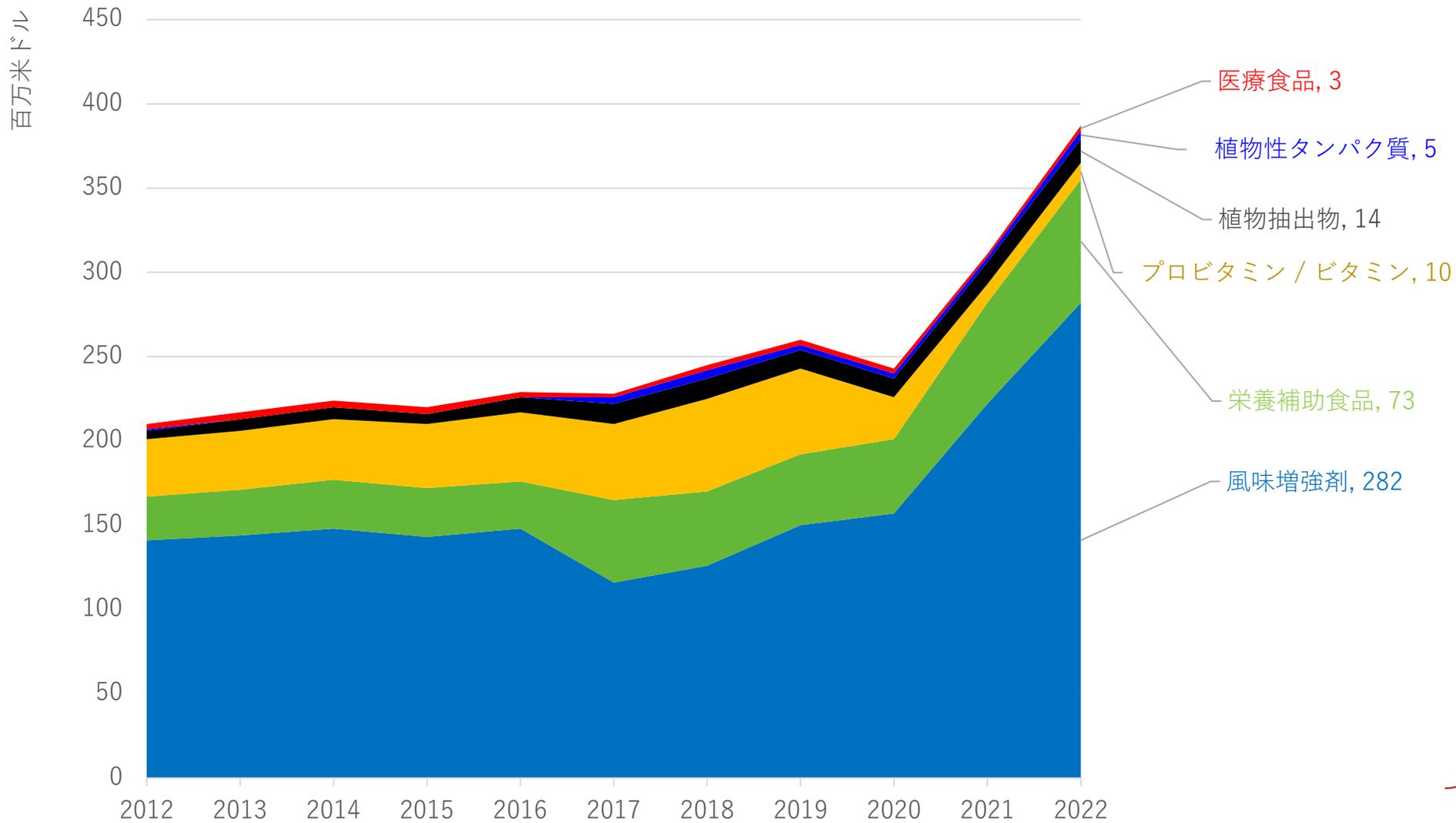
タイ国内市場

成長率
(2023年-2027年見込み)



出所: 国立食品研究所、ユーロモニターのデータより
Source: National Food Institute (NFI), data from Euromonitor

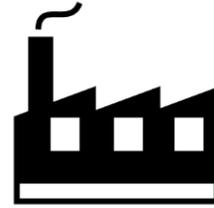
2012年～2022年のタイ未来食品の輸出高



未来食品
3億8700万ドル
 (成長率+24%)

タイの食品産業の構造

- タイの食品産業は所得（GDP）および雇用の両面で大手事業者によって牽引されている
- 小規模事業者が多くあり、主に所得分配および社会的安定の面で役割を果たす
- このため、政府は小規模企業的能力強化に注力



事業者

8,000 120,000
大・中 極小
規模企業 規模企業



雇用者

1,077,000
人
(中間期)

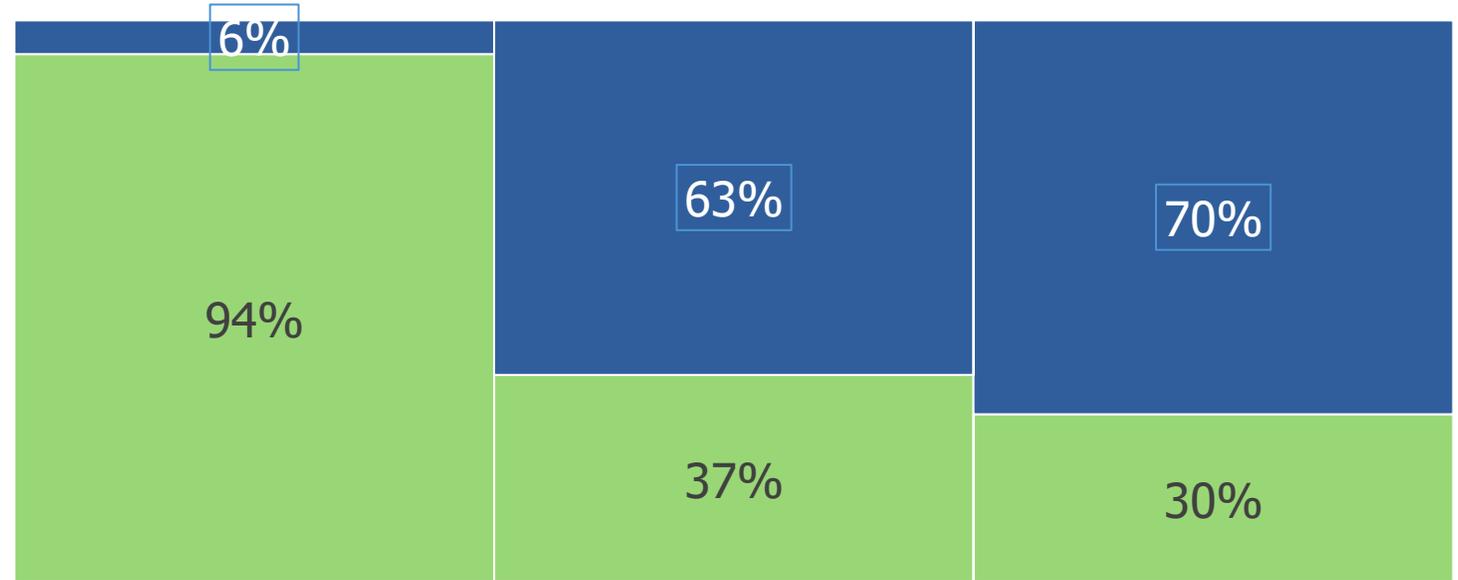


GDP

30,150
百万米ドル

大・中
規模企業

小・極小
規模企業



事業者

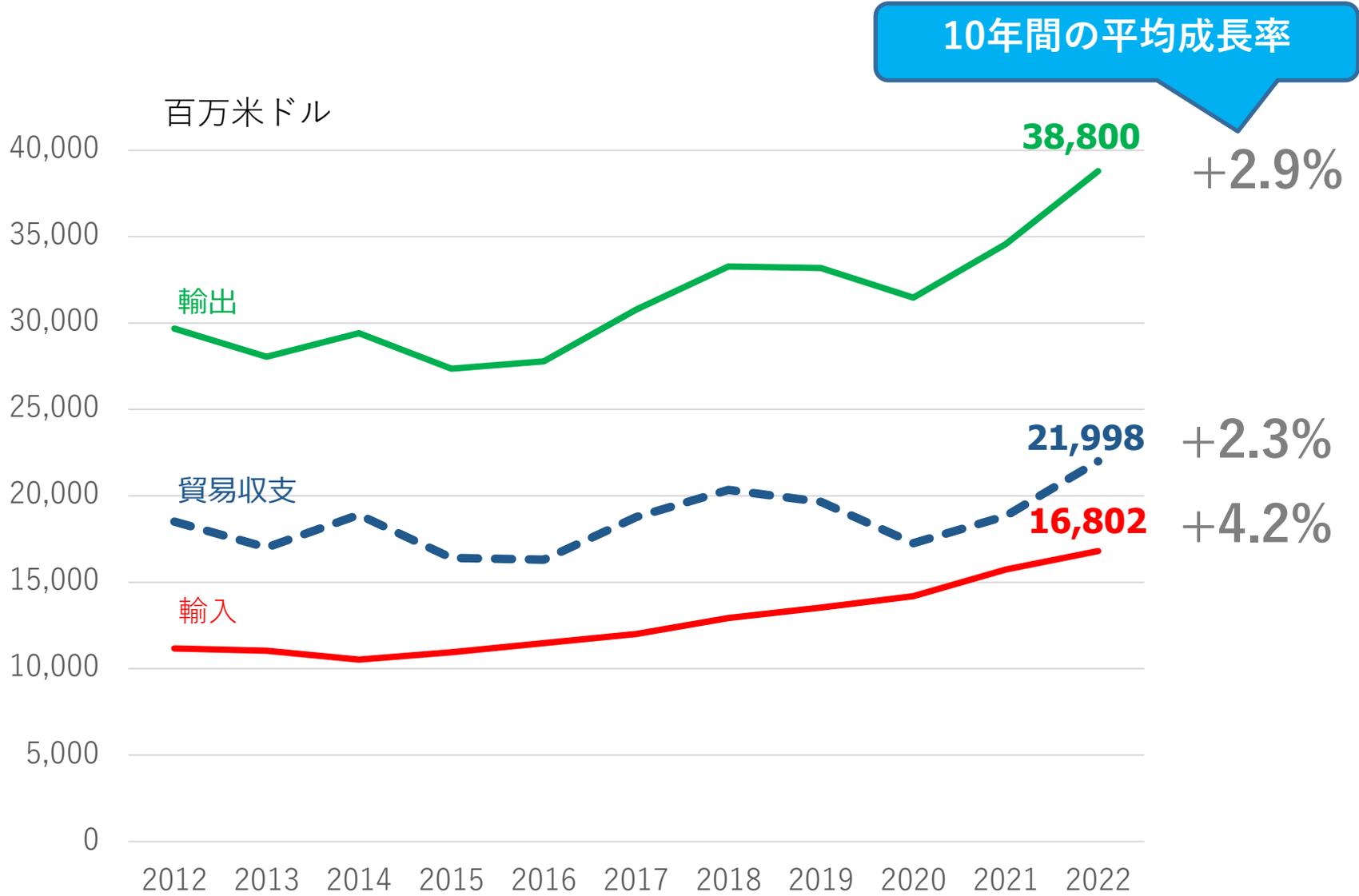
雇用者

GDP

2012年～2022年のタイの食品貿易について

貿易収支の拡大とともにタイの食品輸出は増加

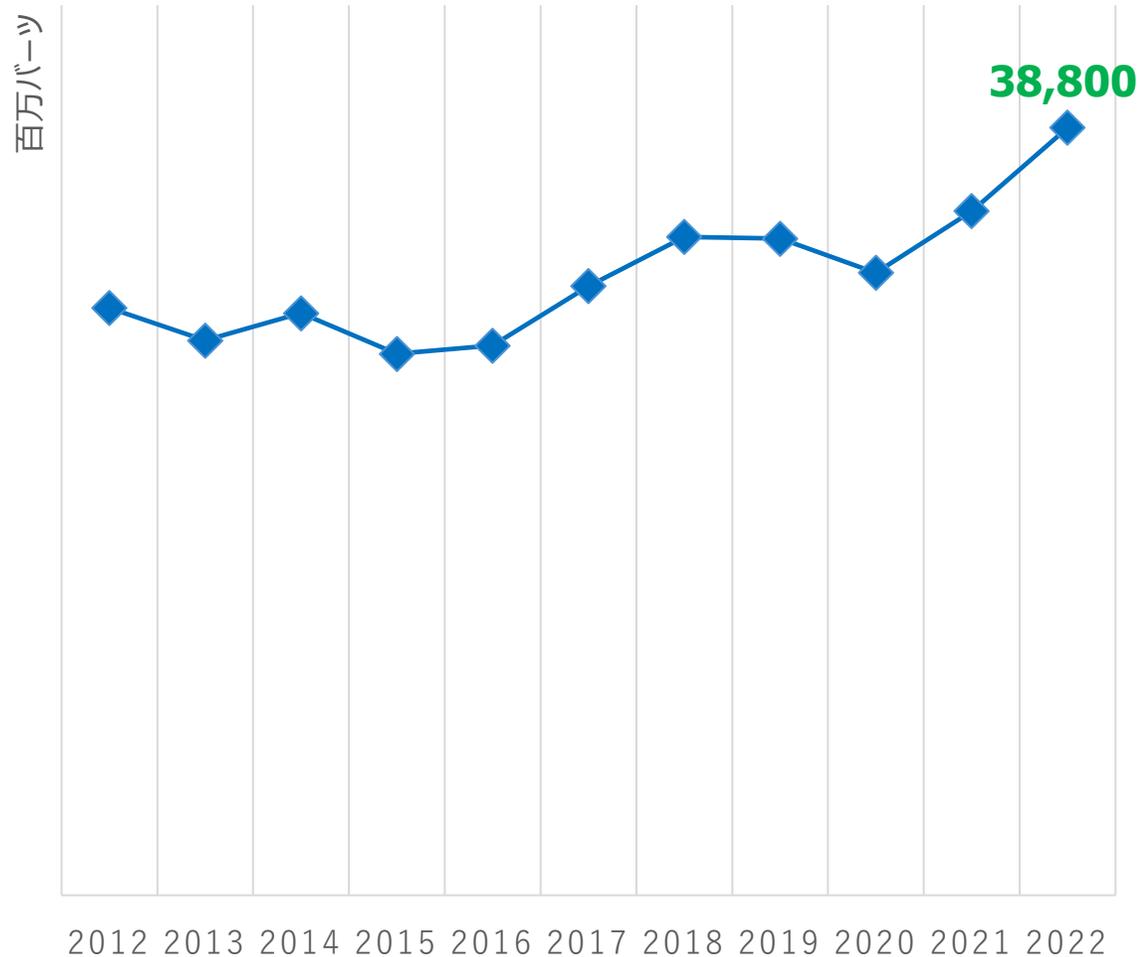
- 2022年にタイは388億ドル相当の食品を輸出した。一方、輸入額が168.02億ドルであり、貿易収支は219.98億ドルの黒字となった
- 過去10年間の輸出は年平均2.9%伸び、輸入はそれよりも高く年率4.2%で増加



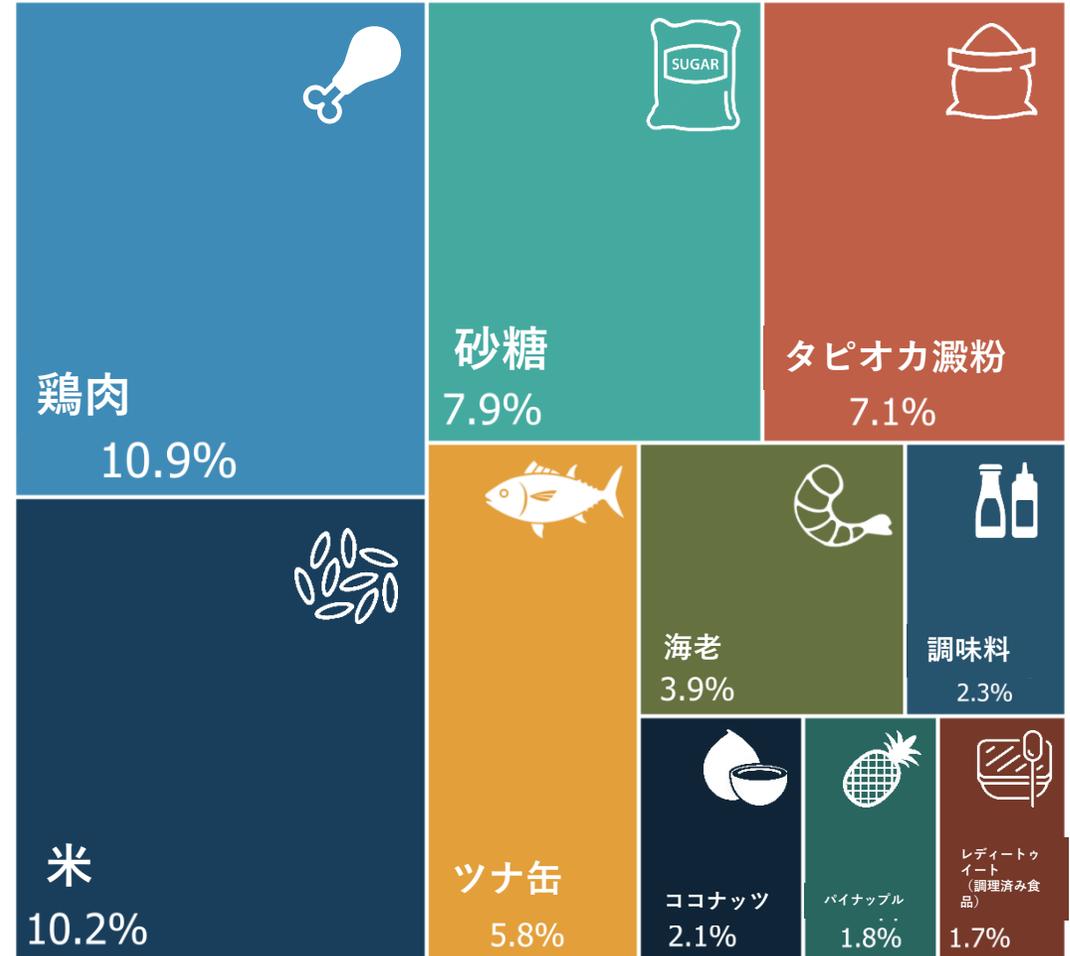
出所:国立食品研究所、グローバルトレードアトラスihsmarkitのデータより
Source: National Food Institute (NFI), data from Global Trade Atlas, ihsmarkit

タイの食品輸出について

2012年～2022年のタイの食品輸出額

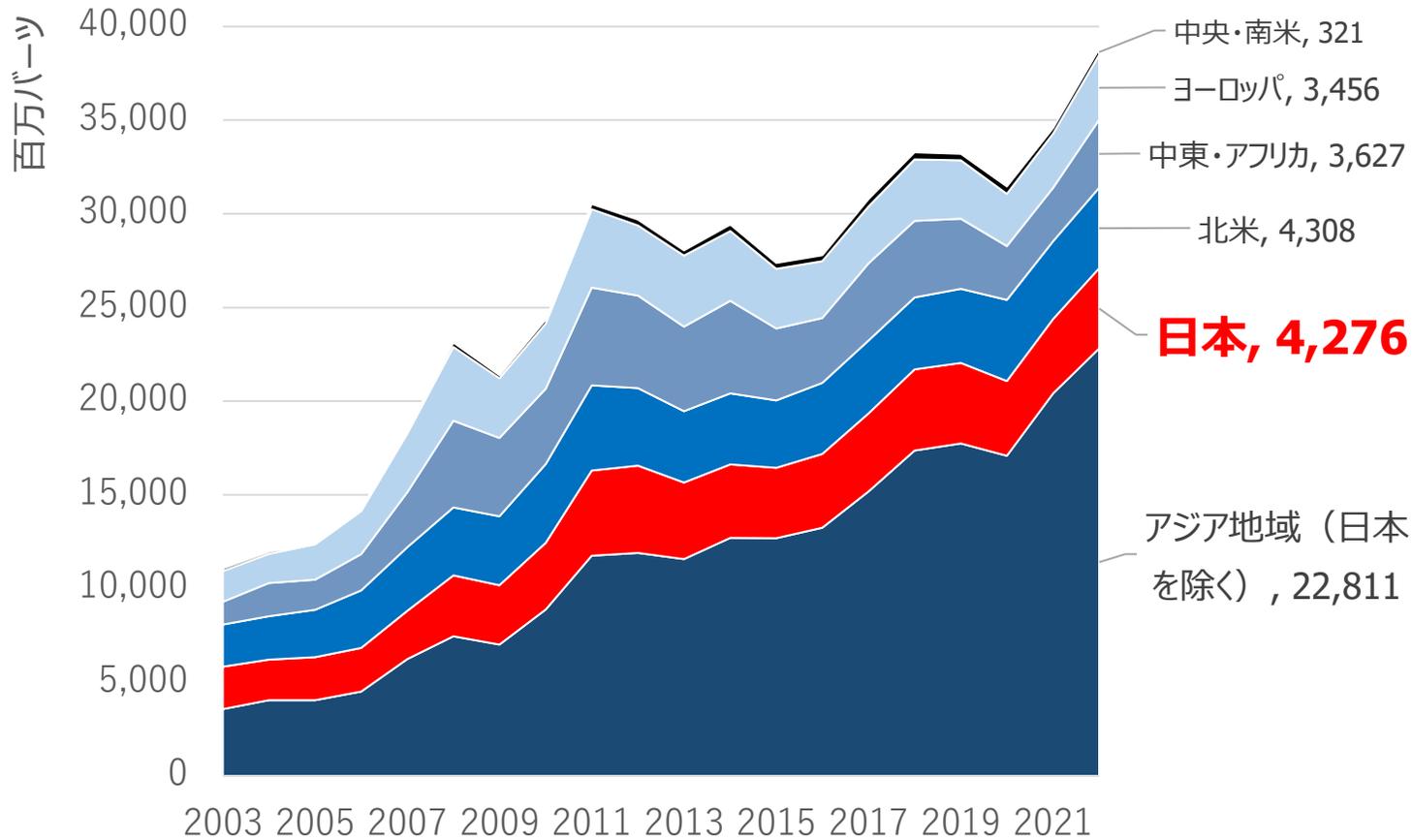


2022年製品別のタイの食品輸出品目

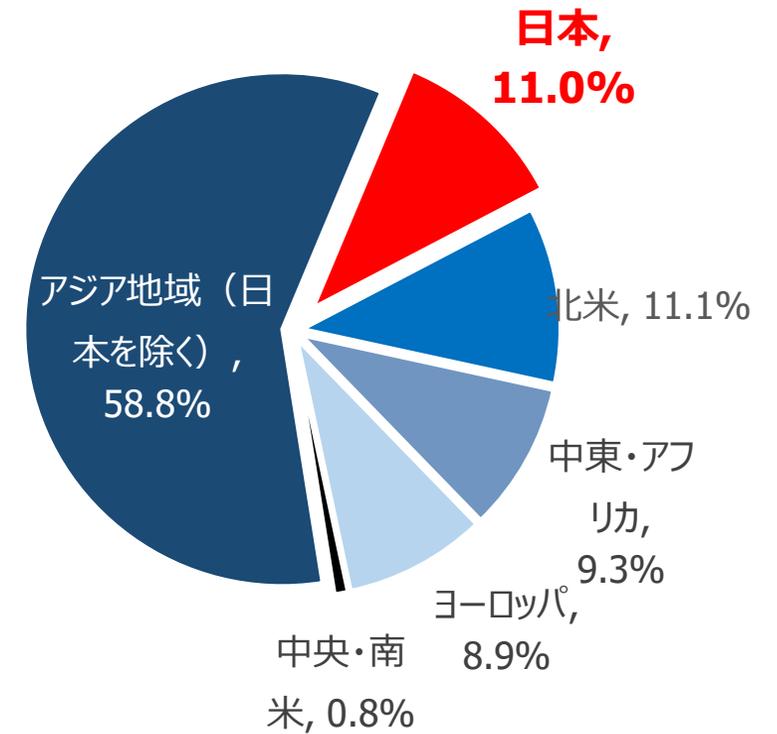


出所:国立食品研究所、グローバルトレードアトラスihsmarkitのデータより
 Source: National Food Institute (NFI), data from Global Trade Atlas, ihsmarkit
 ※注：未来食品には機能性成分の製品、栄養補助食品、幼児食・病人食が含まれる。

タイ食品輸出の仕向地別推移



2022年における構成比



■ アジア地域（日本を除く） ■ 日本 ■ 北米 ■ 中東・アフリカ ■ ヨーロッパ ■ 中央・南米

出所:国立食品研究所、グローバルトレードアトラスihsmarkitのデータより
 Source: National Food Institute (NFI), data from Global Trade Atlas, ihsmarkit

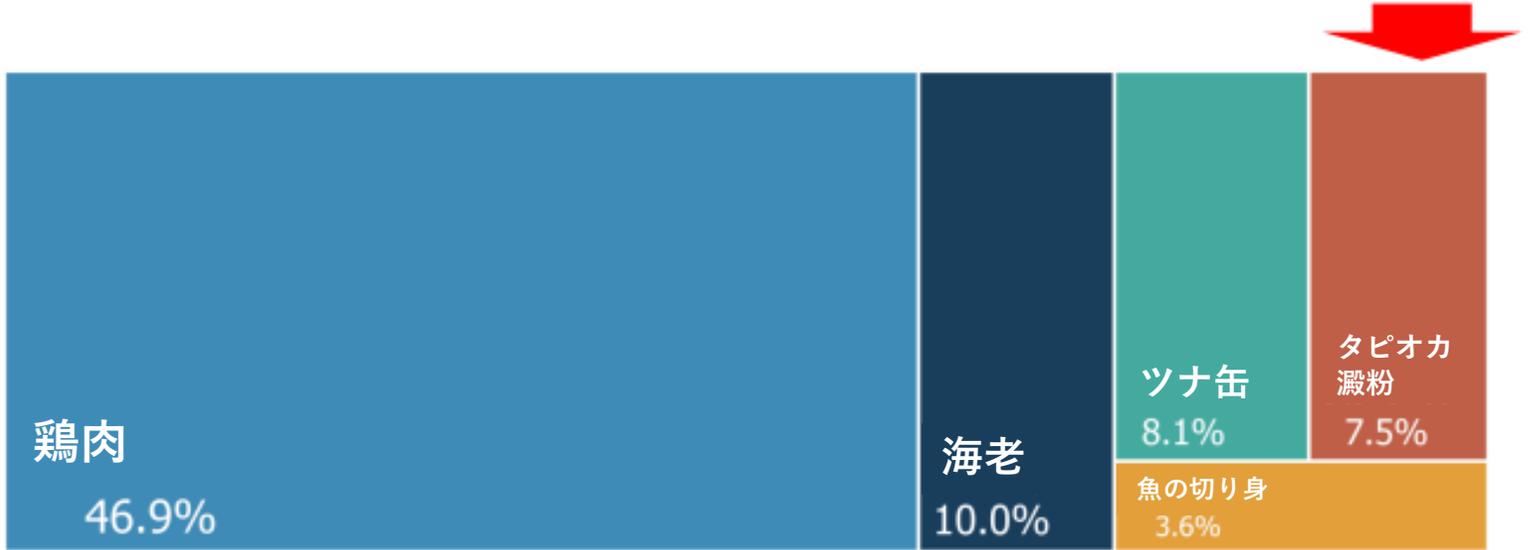
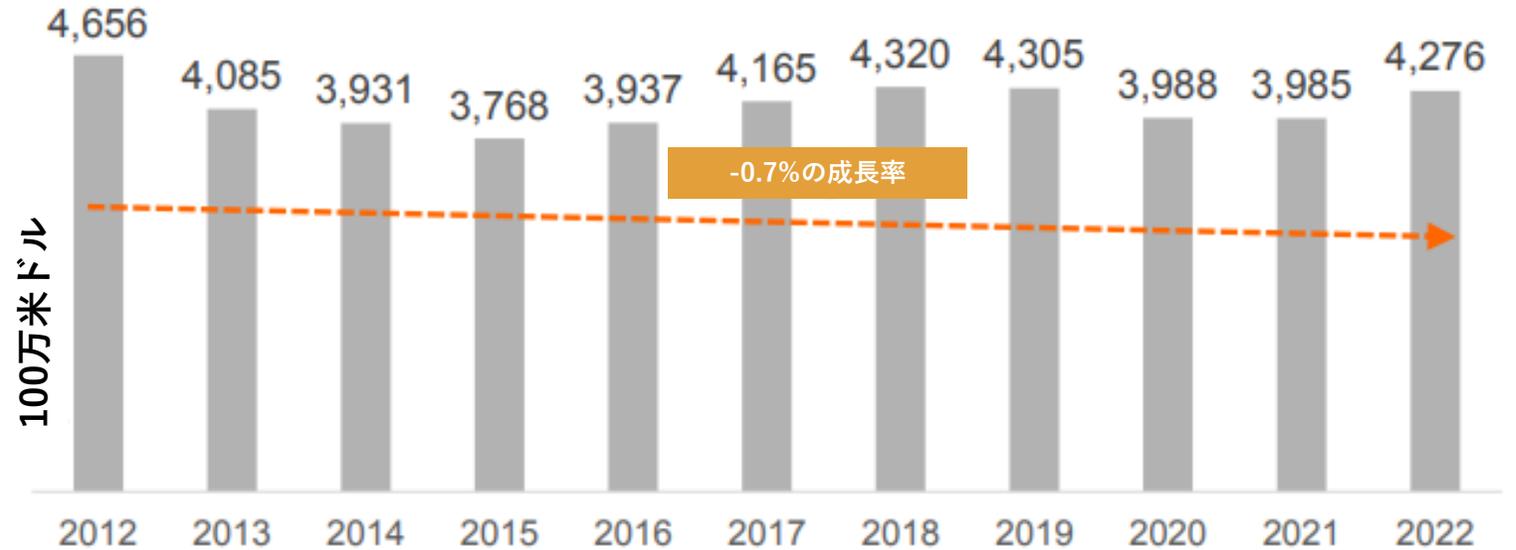
2012年～2022年のタイの食品の日本向け輸出量

日本への食品輸出について

2022年にタイは日本に42.76億ドルの食品を輸出し、過去10年間で年間0.7%の減少となった

上位5つの輸出製品は次の通り

- 鶏肉: 日本への全輸出食品の 46.9%
- えび 10.0%
- ツナ缶 8.1%
- タピオカ澱粉 7.5%
- 魚の切り身 3.6%



出所: 国立食品研究所、グローバルトレードアトラスihsmarkitのデータより
 Source: National Food Institute (NFI), data from Global Trade Atlas, ihsmarkit

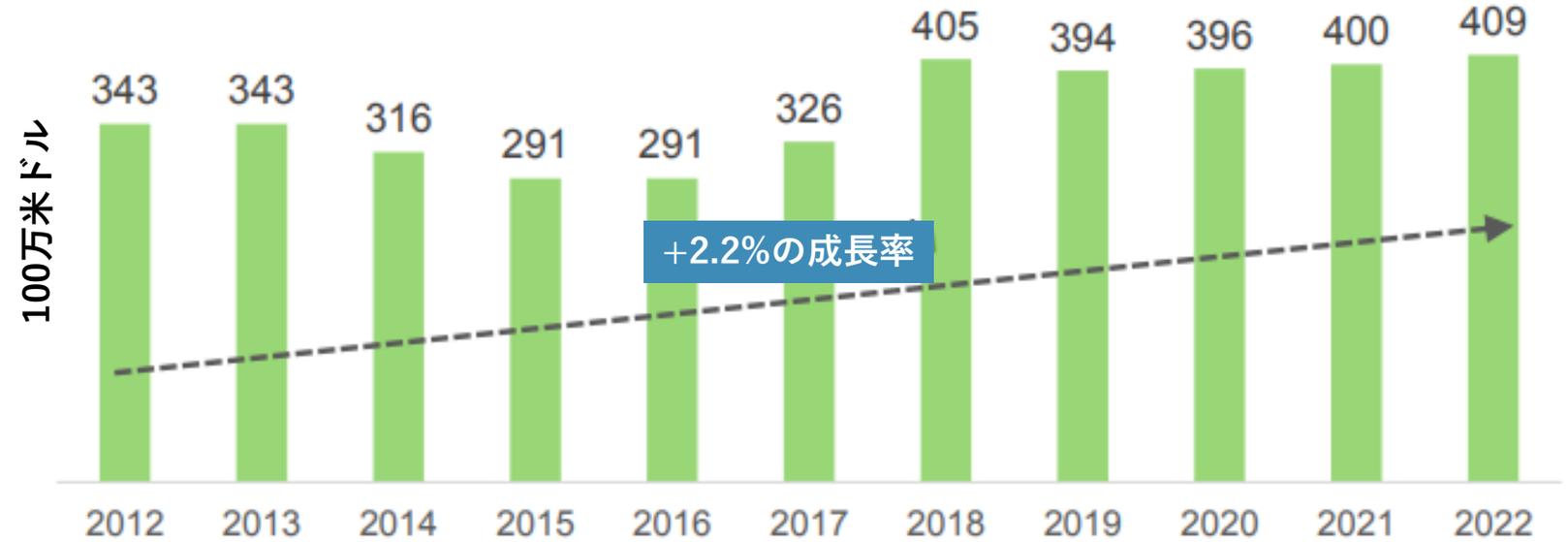
2012年～2022年の日本からタイへの食品輸入量

日本からの食品輸入について

2022年にタイは日本から4.9億ドルの食品を輸入し、過去10年間で年率2.2%の成長を遂げた。

上位5つの輸入製品は次のとおりである。

- 冷凍魚は、日本からの全輸入食品の38.4%を占めている。
- 風味増強剤 (Flavor) 8.3%
- ソースおよび調味料 6.1%
- 冷凍牛肉 5.9%
- 貝類 (Molluscs) 4.9%





タイの農業・食品産業開発支援政策

タイの農業・食品産業開発支援政策

20ヵ年国家戦略

戦略 競争力強化
戦略的課題 価値を生み出す農業

戦略 環境に優しい生活で成長させる
戦略的課題 持続可能な消費および生産の推進

国家戦略のマスタープラン

課題 3. 農業 サブプラン 農業加工
課題 18. 持続可能な成長 サブプラン
グリーン経済社会における持続可能な成長の創造

タイ第13次国家経済社会開発計画案

目標 1 タイは高付加価値農業・加工食品の先進国となる
開発戦略 付加価値農産品、農産加工品の製造とマーケティングの推進
目標 10 循環型・低炭素経済を有する
開発戦略 循環経済および低炭素社会に基づく産業とサービスの開発

工業経済事務局の将来のために経済を牽引する 10のターゲット産業 (NEW ENGINE OF GROWTH)

未来のための食品 (Food for the Future)

- ワールドフードバレーの構築 (Co-creation Centers Food Innopolis, Food Academy, Pilot Plant, One Stop Services Testing Labs) (MOI, MHESI)
- 食品産業へと New Warriors 4.0 を2,000件開発する (nfi)
- 製造標準 (MOI) / 健康食品、未来食品への投資増加 (BOI)

その他の小産業

- 健康食品の研究および製造産業
例：栄養強化食品、低脂肪・低エネルギー・低糖のタイ料理の生産、有効成分と天然素材からの抽出物の生産、医療食品、栄養補助食品等
- 植物性タンパク質などの代替源からのタンパク質を使用する加工食品産業

工業省食品加工産業発展措置 第1期 (2019年-2027年)

ビジョン 「タイは地域経済を牽引するとともにASEANの**未来食品**生産ハブである」

政策 「4乗の創出」

- 1) 新しい種類のフードウォリアーを創出する
- 2) 未来食品のイノベーションを創出する
- 3) ビジネスチャンスを生み出す
- 4) 産業の発展を加速するための基盤を創出する

プロジェクト計画を
具体化させる主な機関

使命に応じて開発を
支援する主な機関

原材料/農業

農業・協同組合省 (MOAC) バランスのとれた持続可能な農業資源および環境の管理に向けて、量、質、標準、安全性を備えた農産品の製造を推進する。

製造/生産者

工業省 (MOI) 産業の事業者の可能性を向上させ、投資と事業運営に資する環境を開発し、工業製品の規格を定める。

タイ国立食品研究所 (nfi) 食品の製造標準、研究と情報、実験室での実験、トレーニング、および研究開発の面で食品の事業者を推進し開発する主な使命がある。

投資委員会 (BOI) 様々な恩典を通じてタイでの投資奨励の役割がある。フューチャーフード (Future Food) 製造事業も、8年間の法人所得税免除、機械輸入税の免除、輸出向け原材料の輸入税の免除など奨励措置に基づく恩典が付与される。

流通/市場

商務省 (MOC) 商務省事業開発の推進、知的財産の保護、農産品価格の管理、消費者の保護、輸出入の整理と管理、国際貿易交渉、輸出の促進・加速を行う。

食品医薬品局 (FDA) 監督・管理、基準設定、安全確認、製品登録の認可・取消、広告宣伝の管理、または製造から、輸入、販売、使用・消費の後まで監督・管理の役割を負う

高等教育科学研究イノベーション省 (MHESI) 研究開発を促進し、知識と技術を活用し企業の競争力を向上させるよう推進する

労働省 (MOL) 業務をレベルアップし、ターゲット産業の企業のニーズを満たすために、労働者の能力・スキルを向上する (Reskill/Upskill/Newskill)。



タイでの未来食品の成長に影響を与える要因

タイでの 未来食品の 成長に影響を 与える要因



非感染性疾患の発生率の増加



タイの観光産業は高く成長

タイは2022年に
本格的に高齢化社会に突入し、
10年後に超高齢化社会に突入

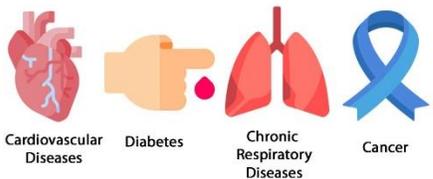


タイの都市化の拡大は同レベルの
他の国よりも速い

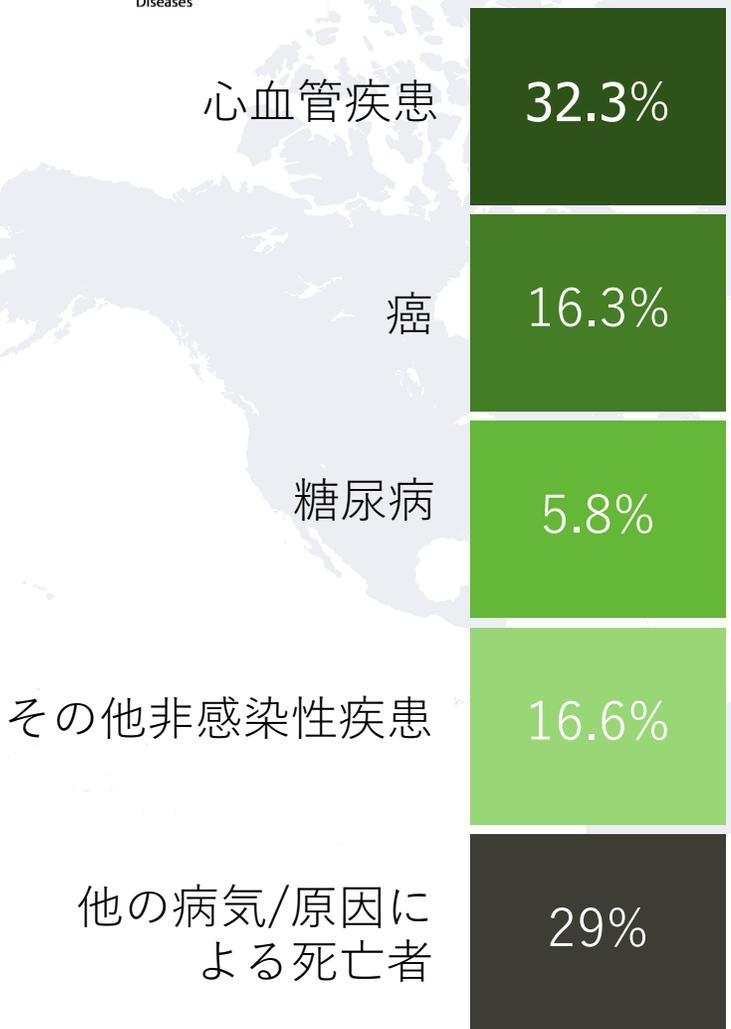


タイ人の購買力は高
まっており、域内諸
国を含めた世界平均
を上回る

非感染性疾患の発生率の増加



5,800 万人
世界の年間総死亡者数



4,100 万人(71%)
世界の非感染性疾患による死亡者数

タイ人は
3人に1人(年間 155,000人)
非感染性疾患によって死亡

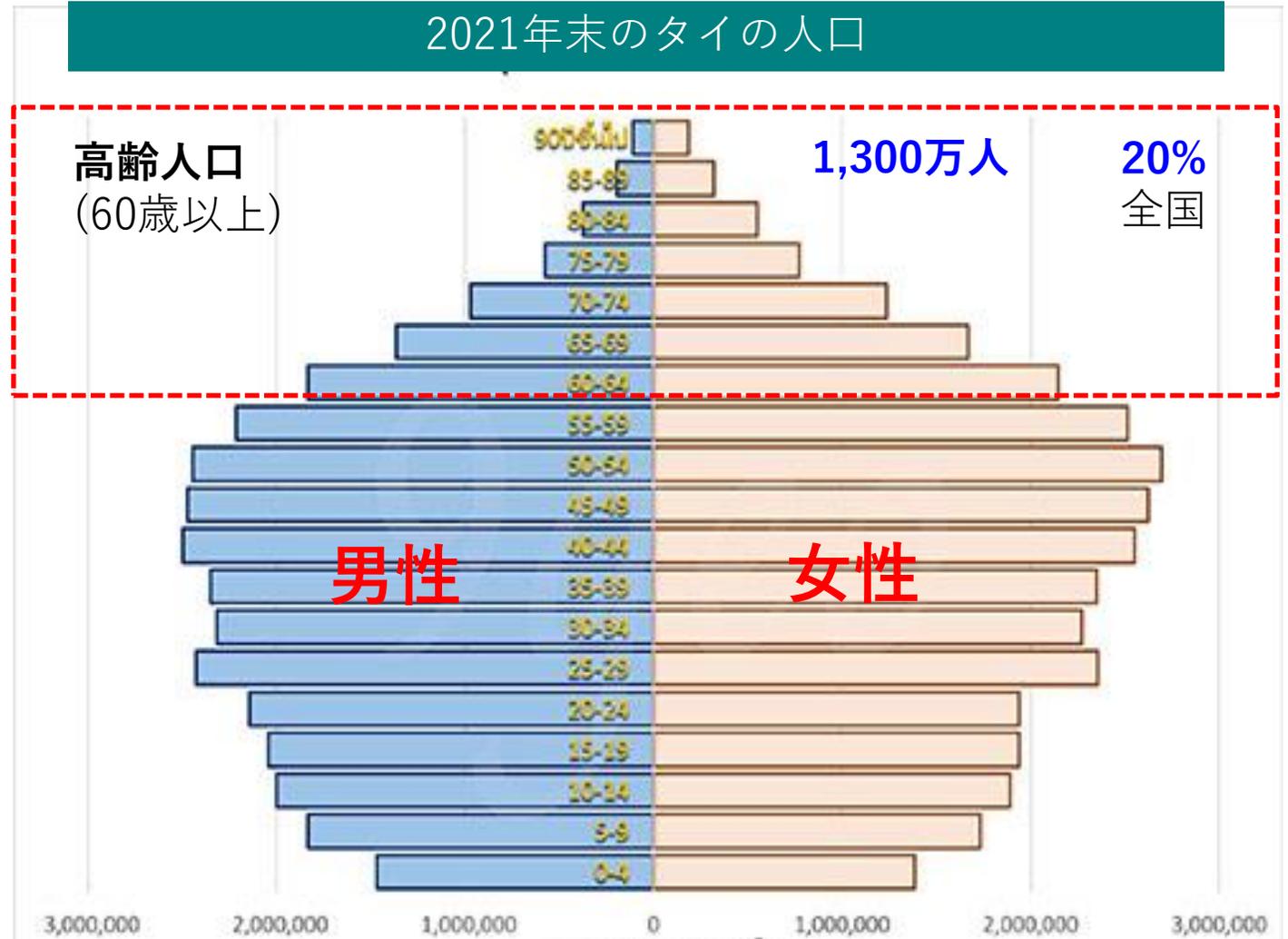


2018年にタイで最も一般的な非感染性疾患グループの病気 (2018年の死亡者数の)

- 17.5% 癌
- 6.7% 脳卒中
- 4.5% 虚血性心疾患
- 3.1% 糖尿病
- 1.9% 高血圧

タイは2022年に本格的に 高齢化社会に突入し、 10年後に超高齢化社会に突入

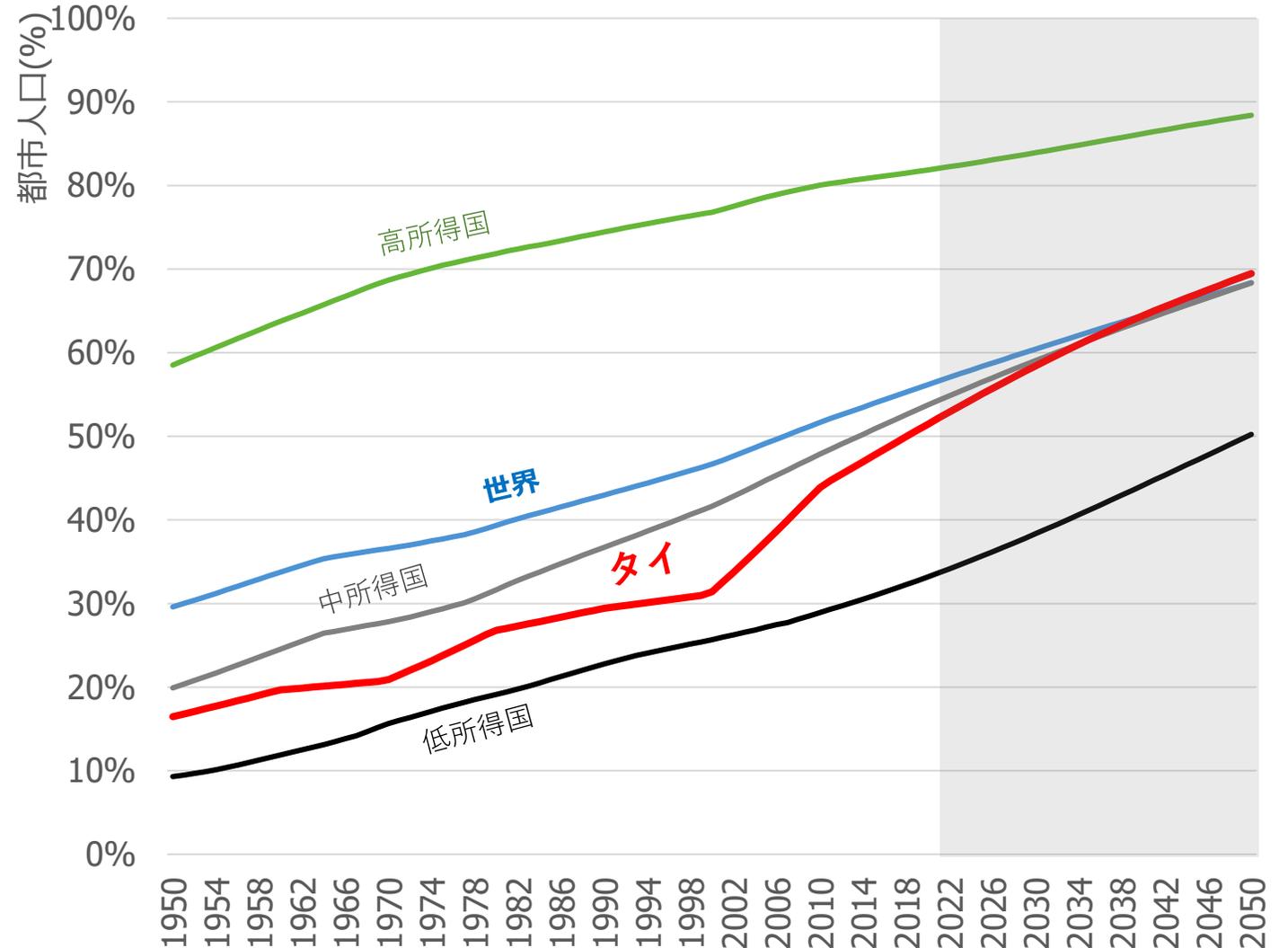
- 2022 年末の時点でタイの人口は 6,600 万人であり、高齢者が約 1,300 万人または 20%となり、タイは本格的に高齢化社会に突入
- また、タイは10年後に60歳以上の人口が3割を占める超高齢化社会となる



タイの都市化の拡大は 同レベルの他の国よりも速い

- 2022年にタイの都市の人口は総人口の52.9%を占め、50年前の22.6%から増加
- 今後、タイは高所得国の世界平均よりも速く都市化が進む
- 国連は、タイの人口の70%が2050年までに都市人口となると予測
- 都市化により中産階級および核家族世帯の数が増加傾向にあり、そのような要因によりフューチャーフードも含めて商品やサービスのニッチ市場が創出される

タイ-総人口に占める都市部の人口割合

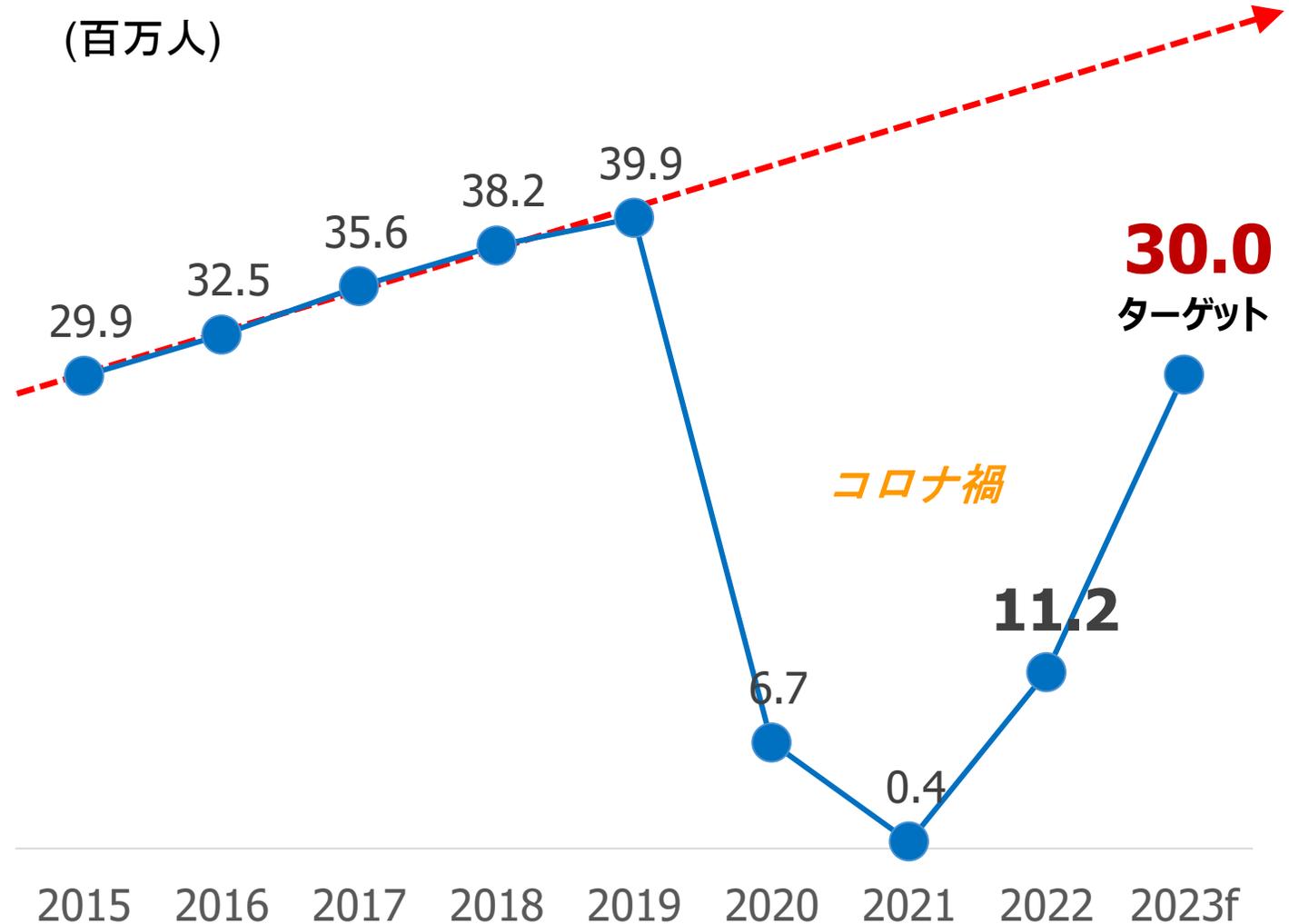


タイへの海外の観光客入国数

(百万人)

タイの観光産業は高く成長

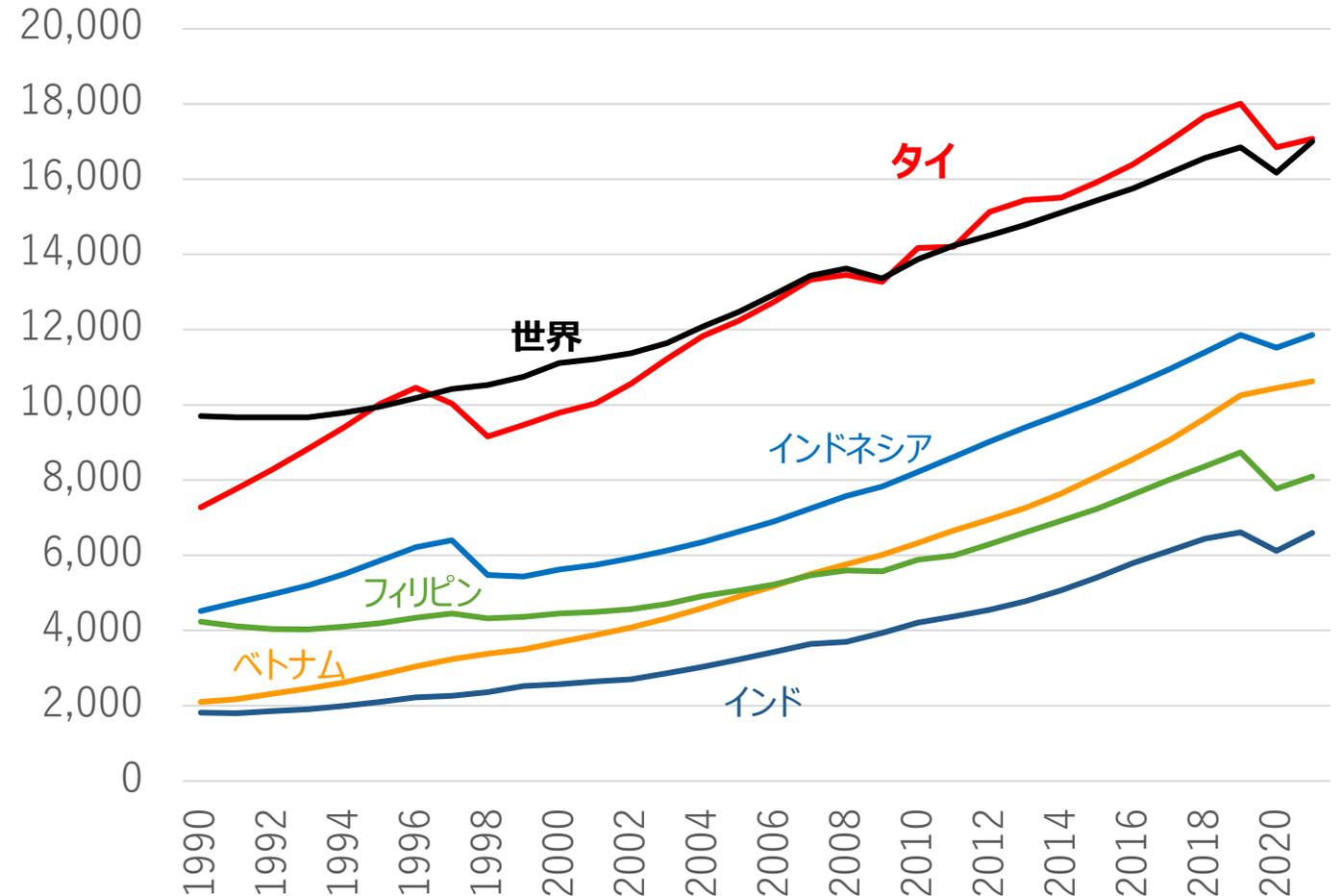
- タイの観光産業はコロナの後で急速に回復しており、2022年には外国人観光客が1,120万人タイを訪れ、今年3,000万人に増加すると予想
- 2~3年後には、タイを訪れる外国人観光客の数が過去最高記録となると予想



タイ人の購買力は高まっており、域内諸国を含めた世界平均を上回っている

- 購買力平価 (PPP) は、一人当たりの GDP で人口の購買力を計測
- 2021 年のタイ人 1 人当たりの平均所得 (1 人当たりの GDP、PPP) は 17,077 ドルであり、世界および域内諸国の平均よりも高く、タイ人がその国の人口よりも購買力が高いことを示す

1990年～2021年の一人当たりGDP、購買力平価*
(2017年実質国際ドル)



結論



タイは食品産業を未来食品産業にレベルアップしている



タイの強みは、農業原材料が入手でき、インフラが整っており、市場の関心を持ち、近隣諸国へ簡単にアクセスが可能



一部のタイ事業者は目標を達成するために、知識や新しい技術およびイノベーションが不足している



外資は、タイの食品産業が目標をより早く達成するのに重要な戦略の一つとなる